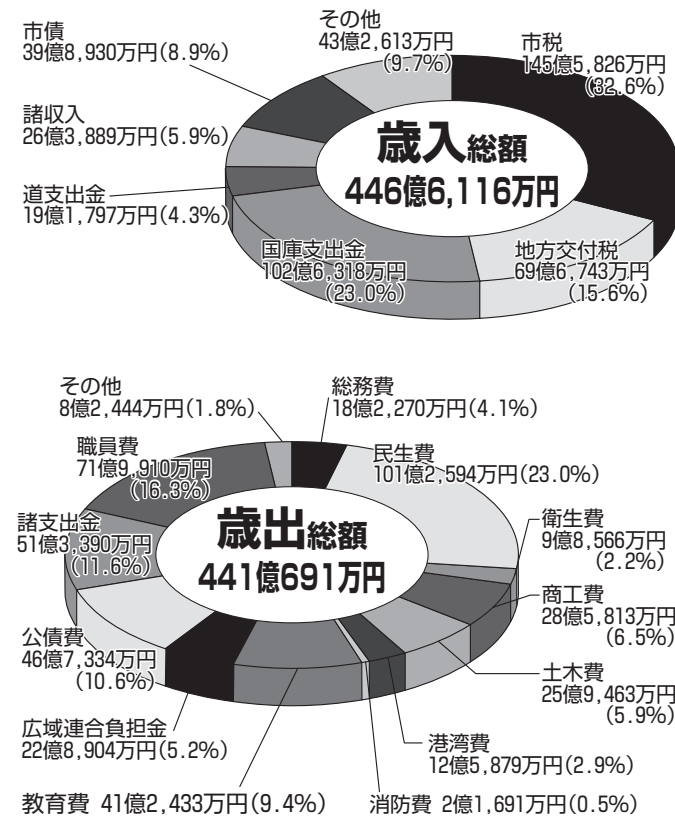


まずは、一般会計の平成21年度決算の状況から見ていきましょう。



一般会計

福祉、教育、道路整備など、市の基本となる会計です。



「室蘭市の税金はどのように使われているの？」
「財政状況は厳しいとよく聞くけど、本当に大丈夫？」
「財政破綻しない？」
不況が続き、いろいろな疑問や不安がわいてきます。
室蘭市の家計は、どうなっているのでしょうか。
平成21年度決算や財政状況についてお知らせします。

むろらんの 台所事情

一般会計を家計簿に例えると...

※家計簿内の各金額は、平成21年度一般会計決算額【 】を同年度末の人口（95,150人）で割った1人当たりの金額です。
※家計簿内の（↗）・（↘）は、平成20年度決算と比較した増減を表しています。

収入	
給料 (市民税など)	【146億円】 15万3千円(↘)
パート収入 (使用料・手数料・負担金など)	【32億円】 3万4千円(↗)
親からの援助 (地方交付税・国・道支出金など)	【210億円】 22万円(↗)
銀行からの借入 (地方債)	【40億円】 4万2千円(↗)
兄弟などから返してもらったお金 (貸付金元利収入)	【16億円】 1万7千円(↗)
預金の引き出し (繰入金)	【3億円】 3千円(↘)
合計	【447億円】 46万9千円(↗)

支出	
食費 (人件費)	【72億円】 7万6千円(↘)
家族の医療費 (扶助費)	【95億円】 10万円(↗)
光熱費などの雑費 (物件費・補助費など)	【78億円】 8万2千円(↗)
車や家具の修理代 (維持補修費)	【7億円】 8千円(↗)
子どもへの仕送り (繰出金)	【57億円】 6万円(↘)
ローンの返済 (公債費)	【47億円】 4万9千円(↗)
家の増改築費 (普通建設事業費・災害復旧費)	【64億円】 6万7千円(↗)
兄弟などに貸したお金 (貸付金)	【13億円】 1万4千円(↘)
預金 (積立金)	【8億円】 8千円(↗)
合計	【441億円】 46万4千円(↗)



差し引きで5千円【6億円】の余裕があるように見えますが、給料やパート収入だけでは生活できていません。親からの援助や、さらに借金をしながら生活しているのが現状です。これからも我慢できるところは我慢をし、より一層の節約・削減に努めます。

次に、特別会計と企業会計の平成21年度決算の状況を見てみましょう。



特別会計

(決算額と事業内容)

国民健康保険料など、使い道が決まっている特定の収入があり、一般会計と分けて運営する必要がある特定事業の会計です。

国民健康保険

75歳未満の加入者が保険料を負担し合い、医療費を賄う制度です。平成21年度の被保険者は2万3,815人で、1人当たりの医療給付費は32万3,121円でした。

歳入 111億6,100万円 **歳出** 105億5,600万円 **差引** 6億500万円

老人保健

75歳以上の各健康保険加入者にかかる医療費を給付する制度で、平成20年3月末で制度は廃止となりましたが、医療費の過誤調整などの残務処理のため、平成23年3月末まで会計は存続します。

歳入 1億3,600万円 **歳出** 1億3,500万円 **差引** 100万円

介護保険

40歳以上の被保険者が、寝たきりなどで介護が必要となった時に必要なサービスを利用できる制度です。平成21年度の要介護認定者は3,965人で、1人当たりの介護給付費は19万1,575円でした。

歳入 59億3,200万円 **歳出** 57億4,700万円 **差引** 1億8,500万円

後期高齢者医療

平成20年4月より開始した制度で、75歳以上の加入者が保険料を負担し合い、医療費を賄う制度です。平成21年度の被保険者は1万3,129人でした。

歳入 12億2,200万円 **歳出** 11億9,200万円 **差引** 3,000万円



企業会計

(決算額と事業内容)

水道や病院など、民間企業と同様に利用者からの利用料収入などによって、事業を運営する公営企業の会計です。

水道

給水戸数は4万8,032戸、給水人口は9万5,329人となったほか、建設改良事業では、チマイベツ浄水場更新工事や送配水管布設を実施しました。

収益的収入 19億2,000万円 **収益的支出** 17億6,800万円
資本的収入 16億1,600万円 **資本的支出** 20億9,000万円

工業用水道

給水事業所数は1事業所で、年間給水量は91万2,500立方メートルでした。建設改良事業では、配水池水位計更新工事を実施しました。

収益的収入 1,300万円 **収益的支出** 600万円
資本的収入 300万円 **資本的支出** 300万円

下水道

処理人口は9万4,569人で、普及率は99.1%となったほか、建設改良事業では、中島下水ポンプ場雨水滞水池新設工事などを実施しました。

収益的収入 26億800万円 **収益的支出** 19億3,000万円
資本的収入 15億7,400万円 **資本的支出** 23億6,900万円

病院

「CTスキャナ装置」などの医療機器を更新するなど、診療業務の充実、医療サービスの向上を図りました。また、入院患者数は延べ18万4,672人、外来患者数は延べ25万7,815人となりました。

収益的収入 99億3,200万円 **収益的支出** 103億2,200万円
資本的収入 6億9,000万円 **資本的支出** 11億100万円

収益的収入・支出って何？

企業の経営活動に伴い発生したすべての収益（営業収益や営業外収益など）と、それらに対応するすべての費用（営業費用や営業外費用など）のことです。

資本的収入・支出って何？

将来の経営活動に備えて行う、施設や設備の建設や改良に要する支出とその財源になる収入（企業債など）のことです。



公設地方卸売市場

市場の効率的運営と青果・水産物など生鮮食料品の安定供給に努めました。取扱量は、青果は2万2,590トン、水産物は9,649トンとなりました。

収益的収入 2億1,700万円 **収益的支出** 1億7,600万円
資本的収入 1,900万円 **資本的支出** 9,100万円

港湾整備

臨港地区における倉庫上屋13棟、荷役機械2基、施設用地等の貸し付けなどを行いました。

収益的収入 2億5,700万円 **収益的支出** 2億100万円
資本的収入 6,600万円 **資本的支出** 6,600万円

平成21年度の決算から
室蘭市の財政状況について
見てみましょう。



室蘭市の財政状況は怎なの？

平成19年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定され、財政の健全化度を判断する健全化判断比率および資金不足比率の算定が義務付けられました。

法律で定める基準よりも比率が下回ってれば、財政状態は安定しているといえますが、健全化判断比率のいずれかが「早期健全化基準」以上、または資金不足比率が「経営健全化基準」以上になった場合は、議会の議決を経て、財政健全化計画などを策定しなければなりません。

平成21年度決算に基づく各比率は、右表のとおり国が定めた基準を下回りましたが、今後も費用対効果やコスト縮減についての検討を行い健全な財政運営に努めます。

健全化判断比率

(単位：%)

区 分	平成20年度	平成21年度	早期健全化基準
実質赤字比率	-	-	12.21
連結実質赤字比率	-	-	17.21
実質公債費比率	9.3	9.6	25.0
将来負担比率	148.1	133.1	350.0

※表中の「-」は、赤字額が発生していないことを表します。

資金不足比率

(単位：%)

区 分	平成20年度	平成21年度	経営健全化基準
水道会計	-	-	20.0
工業用水会計	-	-	
病院会計	8.6	8.0	
市場会計	-	-	
港湾会計	-	-	
下水道会計	-	-	

※表中の「-」は、資金不足が発生していないことを表します。

用語解説

健全化判断比率

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の総称です。

実質赤字比率

一般会計などを対象とした実質赤字額の標準財政規模（経常的一般財源の規模を示すもので、概ね、市税・地方譲与税・地方交付税の合計額）に対する比率です。福祉、教育、まちづくり等を行う一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示す指標といえます。

連結実質赤字比率

企業会計を含む全会計を対象とした実質赤字額または資金不足額の標準財政規模に対する比率です。全ての会計の赤字と黒字を合算し、地方公共団体全体としての赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示す指標といえます。

実質公債費比率

一般会計が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。借金(地方債)の返済額やこれに準じる額の大きさを指標化し、公債費負担の健全度を示す指標といえます。

将来負担比率

損失補償を行っている出資法人(公社や第三セクター)等に係るものも含め、一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。借金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標といえます。

資金不足比率

企業会計ごとの事業の規模に対する資金不足額の比率です。料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示す指標といえます。



最後に、平成22年度予算の上期(4月～9月)の執行状況をお知らせします。

平成22年度予算上期の執行状況

一般・特別・企業会計の執行状況 (前年度からの繰越事業費を含む)

会計名	予算現額	歳入		歳出	
		収入済額	執行率	支出済額	執行率
一般会計	456億円	207億円	45.5%	194億円	42.7%
特別会計	188億円	73億円	38.7%	76億円	40.5%

会計名		予算現額	執行済額	執行率	
企業会計	収益的	収入	152億円	80億円	52.8%
		支出	151億円	68億円	44.8%
	資本的	収入	34億円	6億円	16.8%
		支出	67億円	19億円	28.6%

市の借入金の状況

市債残高

会計名	残高
一般会計	446億円
企業会計	354億円

一時借入金の残高

会計名	残高
企業会計	93億円

市の財政状況については、市ホームページでも見る您可以通过。

また、予算の執行状況などの詳しい内容を記載した「財政事情説明書」を財政課(市役所本庁舎)、戸籍住民課(広域センタービル)、蘭東支所でご覧になれます。

《詳細》財政課 ☎25-2268 <http://www.city.muroran.lg.jp/main/org2300/kessan.html>